

令和7年産大崎地域の 大豆作技術情報(第3号)

令和7年7月24日発行
宮城県大崎農業改良普及センター
TEL: 0229-91-0726 FAX: 0229-23-0910
<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

～栽培のポイント～

- ・ 中生品種では開花が始まっています。開花状況を確認しましょう。
- ・ 大豆が開花前で、雑草の発生が目立つ場合は、適切な雑草防除を行いましょう。

1 気象経過

- ・ 気温は、6月第1・3半旬以降、平年よりも高く推移しました。
- ・ 6月第1半旬の降雨後、降雨が少なく、かつ多照となる日が多くなりました。7月に入って以降まとまった降雨が無く、今後も降雨は少ないことが予想されます。
- ・ 今後も向こう1か月間程度は気温が高い状態が続くことが予想されます。

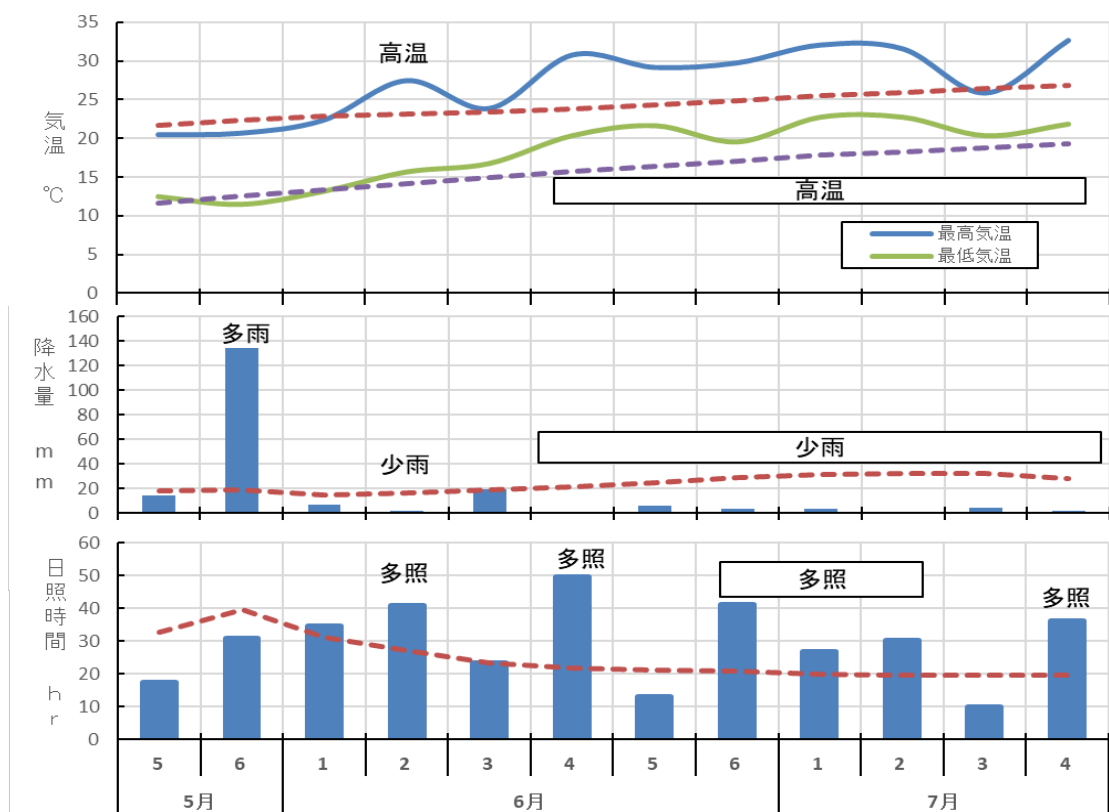


図1 5月第5半旬から7月第4半旬までの気象(古川アメダス)

※実線又は棒グラフが本年値、点線は平年値

東北地方1か月予報 (7月19日から8月18日)

<向こう1か月の確率(%)>

	低(少)	平年並	高(多)
【気温】	10	10	80
【降水量】	40	40	20
【日照時間】	10	40	50

7月17日仙台管区气象台発表

<気温経過の確率(%)>

	低い	平年並	高い
1週目	10	10	80
2週目	10	30	60
3～4週目	10	30	60

2 生育概況(7月24日現在)

- 管内の播種は5月下旬から始まりましたが、5月末の大雨により作業が中断し、6月上旬以降の播種を余儀なくされたほ場もあり、全体的に前年よりも遅い播種となっています。
- 調査ほ場の出芽は良好でしたが、7月24日調査のタンレイ・きぬさやか、すずみのりでは、主茎長、主茎節数ともに前年を下回りました。6月第4半旬以降続いている高温・少雨が影響していると考えられます。
- タンレイ（中生）では、平年より3日早く、前年と同時期に開花期に達しています。

表1 生育調査結果

地区名 品種名	区分	播種日	7月24日			開花期
			主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	
古川 タンレイ	本年	5月28日	40.8	10.6	3.2	7月22日
	前年比	1日遅い	63%	74%	154%	±0日
	平年比	1日遅い	75%	82%	185%	3日早い
古川 ミヤギシロメ	本年	6月6日	58.9	12.8	4.1	未
	前年比	1日遅い	130%	105%	214%	-
	平年比	2日遅い	124%	112%	224%	-
古川 きぬさやか	本年	5月30日	29.5	9.3	4.0	未
	前年比	1日遅い	56%	81%	209%	-
小野田 すずみのり	本年	6月12日	36.1	8.1	1.7	未
	前年比	4日遅い	84%	82%	128%	-

※1 平年比は、前5カ年（令和2年～令和6年）の平均値との比較

3 今後の栽培管理のポイント

- 雑草の発生が目立つほ場では、大豆が開花していないことを確認して、除草剤散布を実施しましょう（除草剤については大豆作技術情報第2号を参照）。
- 中耕培土未実施のほ場では、最低1回は実施しましょう。
- 追肥を行う場合は緩効性肥料を用い、最終培土時に土壤に混和する様に施用しましょう。
- 乾燥による花の落下等を防ぐため、排水対策に問題がなく、用水の利用が可能な場合は畝間灌漑の実施を検討しましょう。

◆◆◆◆◆農薬危害防止運動（6月1日～8月31日）◆◆◆◆◆
運動のテーマ 「守ろう 農薬ラベル、確かめよう 周囲の状況」

「大崎地域の稲作技術情報」、「大崎地域の大豆作技術情報」、「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

